

ホタルのタベコンサート ～神殿校区公民館主催～

5月24日、川辺町の神殿小学校で、神殿校区公民館主催の第19回ホタルのタベコンサートが開催されました。コンサートでは地元の神殿ホタル太鼓の力強い和太鼓演奏のほか、毎回、出演されている川辺フィルハーモニー管弦楽団の優雅な演奏が会場いっぱいに響きわたりました。そのほか神殿小6年生3人によるホタルの生態や神殿で見られる種類や場所の発表と来場者へのホタルクイズがありました。また、受付では来場者に空くじ無しの抽選があり、地元の方や企業が提供した食材が配付され、一つ一つに神殿小児童7人の心温まるメッセージも添えられていました。近くの神殿川ではいつにも増して多くのホタルが見られ、来場者はコンサート後、乱舞するホタルを鑑賞しました。



▲ホタルの里に神殿ホタル太鼓の演奏が響きわたりました。



▲6年生によるホタルについての発表。



▲神殿川の上川原橋あたりでは、夕暮れ後ホタルの乱舞が見られます。

火災時に連携して女性救出 ～指宿南九州消防組合から3人に感謝状～

5月19日、指宿南九州消防組合は、4月に発生した川辺町古殿の火災時に女性を救出したとして、藺田和教さん、藺田真弘さん、山下住子さんへ市役所川辺庁舎で感謝状を贈呈しました。3人は現場近くの一人暮らしの方が、ひとりでは避難できないと判断し、女性宅に向かい、動けずにいる女性を連携して安全な場所に避難させました。



▲感謝状が贈られた藺田真弘さん、藺田和教さん、山下住子さん。(前列左2人目から)

▼茨城県水戸市で開催される全国総文祭に向けた合同演奏、これまでの練習の成果を披露。



全国高校総合文化祭へ出場 ～市内3高校が合同演奏～

6月1日、川辺文化会館で行われた川辺高校音楽部の定期演奏会において、7月末開催の全国高校総合文化祭に出場する頤娃高校、薩南工業高校、川辺高校の吹奏楽部による合同演奏がありました。今回全国大会で演奏する「篤姫」メインテーマ、鹿児島おはら節など3曲を披露。鹿児島おはら節が演奏されると、曲に合わせて観客の力強い手拍子が沸きおこりました。

南九州市初！ 最優秀賞を受賞 ～第43回九州酪農青年女性酪農発表大会～

川辺町の大渡康弘さんが「酪農と獣医師の両立と酪農教育交流を目指して」というテーマで発表し、意見・体験発表の部で最優秀賞を受賞。獣医師の経験を生かした繁殖管理への取り組み、病気の予防・早期発見・早期治療の重要性や、消費者交流を通じた食育教育、牛乳の価格革命への思いが高く評価されました。



▲受賞の報告に来られた大渡さん（中央）。7月には宮城県で開催される全国大会に九州代表として参加されます。

南九州市戦没者追悼式 ～戦争の惨禍を繰り返さない～

5月13日、南九州市戦没者追悼式が知覧体育館で行われました。黙とうの後、霜出市長が「南九州市の未来を担う子どもたちへ、悲慘な戦争の教訓をこれからも語り継いでいくとともに平和と命の尊さを伝えていくことが、私どもに課せられた責務があります」と式辞を述べました。



▲式辞を述べる市長。顕娃、知覧、川辺の遺族会の方など約200人が参列し、恒久平和を誓いました。

ばんどころ絶景祭り 2014 ～多くの来場者が絶景を満喫～

5月18日、3回目となるばんどころ絶景祭りが、番所鼻自然公園で開催されました。天候によりコンサートなど一部イベントが中止となりましたが、番所鼻から釜蓋神社までの海岸線を散策するシーホークウォークや懐かしのボンネットバス乗車など多くの来場者が楽しんでいました。



▲来場者は番所鼻から海を眺め、「きれいだ」と感激していました。また、会場では多くの地元ショップが出店し賑わっていました。

第1回ふるさと体験学級「茶レンジ隊」 ～新茶の手づみ・茶もみ体験～

4月26日、市内の各小学校から13人が参加し、新茶の手づみをアグリランドえいで体験しました。参加者は、青空の下でバケツいっぱいに一芯二葉を丁寧に摘み取った後、場所を水土利館に移し鉄板とホイロを使い「手もみ」を繰り返しました。約1時間30分かけて煎茶ができました。



▲今回、参加した子どもたち。みんな根気強くがんばりました。次の体験も楽しんでください。

今年も新茶が届きました！ ～谷場みどり八日会（顕娃町栗ヶ窪地区）～

5月20日、谷場みどり八日会から顕娃庁舎へ新茶が贈られました。これは良質のお茶作りに向け、技術研修や広報を重ねている同会が、お茶の美味しさや健康にも役立つ素晴らしさを一人でも多くの人に知ってもらいたいということで、毎年行っている活動の一つです。



▲いただいた新茶は市民の皆さんに飲んでもらえるよう、1階ロビーの給茶機に使用されています。

市内の企業などへ『知覧新茶』贈呈 ～リーフ茶の消費宣伝活動～

市茶業振興会知覧支部加工部会は、お茶の美味しさを知っていただこうと、平成21年から市内の企業、官公署、学校などへ知覧茶を贈り、需要促進・消費宣伝活動を行っています。



▲市茶業振興会の宮原福義さんと市坪裕昭さんが会を代表して、霜出市長へ知覧茶を贈呈しました。

今年も5月14日、市役所を訪れ、「どうぞお茶の時間に飲んでください」と自慢のお茶を贈りました。